

## 2026 年第 2 回 ABAC (メキシコシティ) 会議【仮訳】

2026 年 4 月 25 日  
メキシコシティ、メキシコ

### ビジネス界代表がアジア太平洋地域の貿易の安定と成長を取り戻すために 緊急の行動を呼びかける

APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC : APEC Business Advisory Council) は、アジア太平洋地域の大規模かつ多様で活気のあるビジネス界を代表する組織として、2026 年の第 2 回会議を 4 月 22 日から 25 日までメキシコシティで開催し、明確かつ緊急のメッセージを发出了。すなわち、それは**世界の貿易・投資環境は深刻なストレスにさらされており、アジア太平洋地域全体の経済面の自信、レジリエンス、長期的な繁栄を取り戻すためには、大胆で協調的な行動が必要だ**ということである。

ABAC 委員は、エネルギー市場への深刻な打撃、サプライチェーンの混乱の持続、貿易・投資への規制の増加、深刻化する環境問題、そして食料安全保障への差し迫った脅威など、世界経済への高まる圧力に関して深い懸念を表明した。これらの圧力と併せて、複数の APEC 参加国・地域において成長予測の鈍化、インフレ圧力、そして世界貿易ガバナンスにおける不確実性の継続が見られる。

「われわれは重大な転換点に立っている」と、ABAC 議長のリー・ファンロン氏は述べた。「貿易の分断からサプライチェーンの混乱に至るまで、多方面にわたる不確実性によって、企業の自信が揺らいでいる。今必要なのは、予測可能性と安定性を回復し、持続可能な成長への明確な道筋を示すための、断固とした共同行動である。」

ABAC は、雇用、生活水準、そして長期的な繁栄がこれほど大きな局面にさらされたことはかつてなかったと強調し、とりわけ中小零細企業、女性起業家、そして脆弱なコミュニティが最も大きなリスクにさらされていると述べた。

#### 即時行動の要請

第一歩として、ABAC は APEC 貿易担当大臣に対し、貿易における不確実性を軽減し、国境を越えて事業を行う企業のコストを更に引き上げることのないよう、新たな貿易制限の導入を停止するよう求めた。

## 優先行動

ABAC は、成長の勢いを取り戻し、地域経済協力の基盤を強化することを目指した一連の優先行動を明示した。

- 実用的で影響力の大きい短期的な成果を優先するとともに、貿易ルールの枠組みの収斂を進め、開かれた地域貿易環境に向けた機運を高めることにより、**アジア太平洋自由貿易圏 (FTAAP : Free Trade Area of the Asia-Pacific) に向けた進展を加速**させる。
- サプライチェーンの脆弱性への対処、責任ある鉱物資源調達の確保、合法的貿易の促進、透明性と持続可能性の向上を通じて、**連結性とサプライチェーンの強靱性を強化**する。
- **貿易・物流インフラへの投資を行い**、海上・航空輸送の障壁を削減する。これには、移動、貿易、投資を支える地域および地方都市間の連結性の拡大も含まれる。
- 新規市場に参入する中小零細企業 (MSMEs : Micro, Small and Medium Enterprises) 向けを中心として、市場情報、貿易ツール、能力構築へのアクセスを改善することで、**市場の多様化を促進**する。
- APEC の非関税措置 (NTMs : non-tariff measures) に関する原則の適用、科学的な根拠に基づいた透明性の高い措置の推進による、食料事業者のコンプライアンス負担の軽減、食料安全保障と持続可能性の強化を通して**食料貿易における非関税障壁に対処**する。
- デジタル製品に対する関税の恒久的禁止を確立し、新たな「ペーパーレス貿易に関する組織横断的な APEC 中核拠点 (ACCEPT : APEC Centre of Excellence for Paperless Trade)」を通じて普遍的なペーパーレス貿易を実現するとともに、相互運用可能な規制を整備し、責任ある AI を推進し、オンライン詐欺と闘い、量子技術のガバナンスとリテラシーを支援することで、**デジタル貿易とデジタル変革を推進**する。
- 女性の経済的エンパワーメントにかかわる構造的な障壁を取り除き、男女同一賃金を推進し、リーダーシップの機会を増やし、ケアエコノミーを不可欠な経済インフラとして強化することで、**女性の経済的エンパワーメントを促進**する。

ABAC は、これらの提言を 5 月に開催される APEC 貿易担当大臣会合に提出する予定である。また、ABAC は、女性の経済的エンパワーメントを強化するための提言を盛り込んだ書簡を、APEC 女性と経済フォーラムに送付する。

これらの提言をさらに補強するものとして、ABAC は、優先貿易分野における進展の加速を求める「FTAAP に関する ABAC ステートメント (ABAC Statement on FTAAP 2026) <sup>[1]</sup>」と、APEC 連結性ブループリントへの新たなコミットメントと次期段階の推進を求める「コネクティビティ (連結性) に関する ABAC ステートメント (ABAC Statement on Connectivity) <sup>[2]</sup>」を発表した。

---

[1] (英文) <https://www2.abaonline.org/content/download/22642941>

[2] (英文) <https://www2.abaonline.org/content/download/22642931>

「ABAC の役割は、APEC の活動においてビジネス界の声が中心的な役割を果たすことを確実にすることである」とリー・ファンロン議長は締めくくった。「われわれは引き続き首脳や閣僚と連携し、政策が現場の企業が直面する現実と歩調を合わられるようにしていく。」

これらの提言は、今年の ABAC のテーマである「**Openness (開放)**」「**Synergy (シナジー)**」「**Connectivity (連結性)**」を推進するものである。

「開放性、シナジー、そして連結性は抽象的な概念ではなく、実践的な必須事項である」とリー・ファンロン議長は強調した。「開放的な市場は成長を促進し、連結性はレジリエンスを強化し、シナジーは我々の共同の努力が、個々の努力の総和を超えた結果をもたらすことを確実にするのだ。」

### **APEC ならびにその利害関係者との連携**

また、会議では政府関係者、APEC 高官、および地元経済界とのハイレベルな意見交換も行われた。

メキシコのルイス・ロセンド・グティエレス経済省通商担当次官が基調講演を行った。メキシコが 2028 年の APEC 議長国として開催に向けて準備を進めるなかで、デジタル貿易政策とビジネス界の役割に関するサイドイベントも開催された。

中国国際貿易促進委員会 (CCPIT: China Council for the Promotion of International Trade) 委員長および 2026 年 APEC CEO サミット実行委員長であるレン・ホンビン氏は、アジア太平洋地域で最も重要なビジネスイベントであり、首脳や閣僚とトップ経営者が一堂に会する「2026 年 APEC CEO サミット」の準備状況についても説明を行った。

ABAC は、実りある会議を開催してくれた ABAC メキシコに感謝の意を表した。

ABAC は、バンコクで開催される予定の 2026 年第 3 回 ABAC 会議において、APEC 首脳に提出する提言をさらに精緻なものにしていく予定である。

以上

<2026年第2回 ABAC（メキシコシティ）会議の様子>



ABAC 委員の集合写真【写真提供元：ABAC 国際事務局】



基調講演：メキシコの  
ルイス・ロセンド・グティエレス  
経済省通商担当次官



オープニング・プレナリーの様子



2026年 APEC CEO  
サミット実行委員長  
レン・ホンビン氏



オープニング・プレナリーに出席する ABAC 日本委員・代理委員  
(左から、古田委員、古澤委員、引間代理委員)



2028年メキシコ APEC/ABAC 議長年に向けた  
サイドイベントで発言するペドロサ APEC 事務局長



WTO 第 14 回閣僚会議（MC14）について  
報告する宇山 智哉 WTO 事務局長上級補佐官